



みなさんに気持ちよく楽しんでいただくために、**交通指導を実施します。**
ご協力をお願いします。

交通指導の実施予定日
4月25日(土)・26日(日)
29日(水)

5月2日(土)～6日(水)

指導時間

午前9時～午後5時

山頂周遊道路の通行制限

○富士山山頂の周遊道路は、時計回りで一方通行可能です。
○期間中は、大変混雑することが予想されます。交

通指導員、道路標識の指示に従ってください。

無料臨時バスの運行

交通指導実施日には、臨時バスを無料運行します。バス乗車場所(如法寺河原)には、無料の駐車場があります。

往復運行の経路

大洲まちの駅「あさもや」(如法寺河原(無料バス発着場)→家族旅行村→富士山ふれあいの家前

富士山駐車場整理料

交通指導実施日には、次の整理料金が必要です。

- 普通自動車(軽自動車含む) 500円
- マイクロバス 800円
- 大型バス 1,000円

※よく確かめましょう。

つつじの開花状況により、交通指導日が変更される場合があります。指導日変更に伴い、無料臨時バスの運行日も変更になりますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】

- 市役所商工観光課 ☎242111(内線532)
- 大洲市観光協会 ☎242664

博物館よりお知らせ
ふるさと見聞講座
受講生を募集します!
～大洲市立博物館～

市民の皆さんに楽しく学んでいただくことを目的に開かれる生涯学習講座です。講座の内容は次の予定です。

- 6月 ギャラリートーク (博物館)
- 7月 禅画の鑑賞 (博物館)
- 8月 布わらじを作ろう (博物館)
- 9月 バイオテクノロジーって何? (博物館)

- 10月 浅野館長講演 (博物館)
- 11月 引田まち歩き (現地)
- 12月 高知文学館で (松本清張生誕百年展)
- 1月 バードウォッチング

受講の申し込み
大洲市立博物館まで
☎244107

費用
現地研修・体験学習は実費となります。

募集締め切り
5月31日(日)

第37回 柳沢ほたるまつり

県天然記念物に指定されている矢落川のゲンジボタルを見にきませんか。
見ごろ
5月下旬～6月上旬
イベント開催
6月6日(土) 正午～午後10時
6月7日(日) 正午～午後9時

【問い合わせ先】

- 場所 柳沢小学校
- 柳沢公民館 ☎24400

第11回 地蔵堂ほたるまつり

今年も楽しい催しやバザーを用意して、皆さんをお待ちしています。平野「ほたるの里」へぜひ、お越しください。
日時 5月30日(土) 午後6時30分～午後9時
※雨天時、5月31日(日)

【問い合わせ先】
地蔵堂ほたるまつり事務局 ☎247284 (松本)
☎242431 (平野公民館)



エバーグリーンの中の森

エバーグリーンの中の森 次代を担う子どもたちとともに

～森林整備に企業が貢献～



▲サクラ植えたよ

県内の森林整備に貢献するため、伊予銀行(森田浩治頭取)は、愛媛県、大洲市、愛媛の森林基金(上甲啓二理事長)の三者と「企業のもり森林づくり活動協定」を結び、森林整備に貢献することとしています。これは、CSR(企業の社会的責任)活動の一環で、同行は、平成20年から5年間愛媛の森林基金に毎年百万円ずつ協賛し、県内2か所の森で行員などのボランティアにより「エバーグリーンの中の森」づくり活動を行うというもので、大洲市では阿蔵・高山の市有林で、行員などがケヤキやヤマザクラの植樹や下草刈りをボランティアで行います。2月28日(土)、阿蔵・高山の市



▲職人のようです (シイタケの植菌体験のようす)

有林で「伊予銀行エバーグリーンの中の森」の活動開始式が、行員のほか地元の久米小学校児童と家族など約170人が参加して行われました。開始式で森田頭取は、「森は私たちに様々な恵みを与えてくれます。今日は自然の恵みに感謝し、自ら汗を流し、自然豊かなふるさとをつくり、子孫にのこしたいと思えます」とあいさつされました。また来賓として出席した大森市長は、「森林整備の機会を頂き、感謝しています。末永く憩える森にしていきたいと思う」と述べました。看板の除幕や記念植樹が行われた後、ケヤキ300本、ヤマザクラ300本の計600本が、山の斜面に次々に植えられました。またこの日は、シイタケの植菌体験などが行われ、参加者らは、クヌギの木にドリルで穴をあけては、シイタケの菌入れ体験をしました。

おおずの女性

〜輝いて今〜

Vol.52

パパの育児休業体験記紹介

内閣府が平成19年度に行った調査によると、子育て中の父親のうち、「職業と育児に同じくらいかかわりたい」という割合が約7割、子育て中の母親のうち、「父親に職業と育児に同じくらいかかわってほしい」という人の割合はおよそ8割にのぼっているそうです。

一方、子育て真っ最中の30代・40代の男性で、フルタイムで働いている5人に1人以上が週60時間以上働いているとの結果が、同じく内閣府の調査から出ていて、希望どおりに育児に関わることは、なかなかできないようです。

そのような中、内閣府が平成20年9月から男性の育児休業体験記を募集したところ80通を超える体験記が寄せられ、その体験記が「仕事と生活の調和推進室」のホームページ(<http://www.8.cao.go.jp/wlb/index.html>)に掲載されています。

体験記には慣れない子育てに四苦八苦される様子や多くの発見、驚きなどが書かれています。そ

して体験記を寄せられた人はどの人も、「育児休業を取得して良かった」と書いています。男性が子育てに参加したくても出来なかった要因の一つに、「子育ては女性の仕事で自分は手が出せない」、また逆に女性は「男性に子育てを任せるのは不安」ということもあったようです。しかし小さいころから子どもと接することで男性は子育てに自信を持ち、それを見た女性も安心して子育てを任せられる様子が、先ほどの体験記からもうかがえます。

女性の「社会参加」が望まれる今、男性の「家庭参加」も社会から望まれています。仕事も家庭での役割も喜びも分かち合える、そんな男女共同参画社会を目指しませんか？

問い合わせ先

大洲市企画調整課

男女共同参画係

☎ 242111

(内線522、524)

まちのわだい

第23回歩け走れ大会

～春休みの思い出～

3/1(月)



▲一斉にスタート

白滝の恒例行事となった「第23回歩け走れ大会」(主催白滝公民館 窪時男館長)が開催されました。

晴天に恵まれたこの日は、老若男女177人が参加。80歳以上で参加された人も6人おられました。参加者は、3.8kmのマラソンコースと2.6kmのウォーキングコースに分かれて、それぞれさわやかな汗を流しました。

競技を終えた参加者らは、白滝婦人会の皆さんに調理していただいたうどんをおいしそうに味わっていました。また、フリーマーケットやビンゴゲーム大会も行われ、参加者は楽しい時間を過ごしていました。

ひな流し交流会

～どこまで流れていくのかな?～

3/3(火)



▲うまく流れていくかなあ

今年も桃の節句にあわせ、大洲市老人クラブ連合会肱川支部主催のひな流し交流会が川上地区5か所の幼稚園児を招待し、肱川支所裏の河辺川で行われました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、老人クラブの方から川の名前や「ひな流し」の由来などについて話を聞いた後、川にかけた板の上から自分たちで作ったひな人形を浮かべ、一斉に流しました。園児たちは自分のひな人形がどこまでも流れていく様子を、川っぶちを走りながら見守っていました。

ひな流しの後、肱川公民館に場所を移し、老人クラブのみなさんに用意してもらったカレーライスと一緒に食べたり、ひなまつりの歌を歌ったり、肩たたきをしてあげたりして楽しく交流しました。

※流したひな人形は、老人クラブのみなさんが回収されました。

振り込め詐欺にご注意!

3/13(金)

～ぐるりんおおずに被害防止ステッカー～

振り込め詐欺の被害を防止しようと、市内循環バス「ぐるりんおおず」の車内や側面に振り込め詐欺被害防止の吊皮広告やステッカーが設置されました。この日は大洲農業高校の生徒がバスに乗り込み、乗客に啓発グッズや手作りのクッキーを配って、振り込め詐欺にあわないように注意を促しました。



▲ていねいにステッカーを貼る農業高校の生徒

まちのわだい

3 / 15(日)

被害を最小限に……

～大川地域防災訓練～

地域が一丸となって、健全で災害に強い地域づくりを進めようと大川地域防災訓練（主催：大川地区自主防災組織・大川自治振興会ともに松岡昇平会長）が、蔵川小学校で行われました。訓練は、大きな地震が午前8時30分に発生したことを想定して、サイレン放送を合図にスタート。この日は地区内の住民およそ200人が参加しました。

事前に作成した連絡網を活用して代表者が地区住民の安否を確認。また家屋等の損壊状況、道路崩壊の状況などを災害本部に連絡する訓練が行われました。その後、森山・成能・蔵川上・蔵川下の4つのグループに分かれて、地震体験車による揺れの大きな地震体験のほか、煙体験ハウス、消火器訓練、AEDによる救急救命訓練などが行なわれました。参加者は、消防署員の説明を熱心に聞き、どの訓練にも真剣に取り組んでいました。



▲AEDについて熱心に説明を聞く参加者



▲ロープを使った応急担架で搬送します

っており、参加者全員で食事をとりました。

この訓練により、平成20年度の河辺地域全体で訓練参加者は、延べ395人になりました。

自分たちの地域は自分たちで守ろう！

～ ところを変えて出前で訓練 ～

3 / 29(日)

植松地区自主防災組織が大成集会所で、出前の防災訓練を実施しました。

集まった参加者は3班に分かれ、大洲消防署川上支署の指導により、ロープワーク、応急担架作成法、搬送法を学習し、避難訓練に見立てて徒歩で500m離れた砂置場へ移動。そこでは、土のうの作成と積み方を学習しました。その後、徒歩で再び大成集会所へ。到着するころには、ハガマで炊いたおにぎりなどの炊き出しができあが



▲あいさつする三好会長

午後からは、愛媛県教育委員会生涯学習課の和田穂さんが「『つながる』婦人会」と題して講演を行い、和田さんは、「人と交わり支えあつていくことで、自分自身を磨き自己を高めていくことができます。また地域の人や会員同士のつながりを大切に、互いに助け合う関係がとても大切です」と話されました。

日常の諸問題について研究協議を深め現代社会に対応した婦人会活動のあり方を考えようと、3月3日（火）肱南公民館大ホールで、大洲市連合婦人会（三好康子会長）・大洲市教育委員会の主催により大洲市連合婦人会大会が開催されました。大会では、文化部、社会環境部、青少年部、保健体育部、福祉部の5つの部から平成20年度の活動について実績報告が行われ、また徳森婦人会の大森勝子さんと若宮婦人会の若宮ミフネさんの二人が、それぞれ

婦人会の充実と発展を願って

～ 大洲市連合婦人会大会 ～

「学校・地域と連携した青少年の健全育成」、「福祉活動を通して」と題して研究発表を行いました。研究発表の中で大森さんは、「親が子をかわいがるのは当たり前だが、子が親に孝行するためには、親が祖父母への孝行を、身をもって子に示すことが大切」と話されました。また、若宮さんは、特別養護老人ホームの訪問を通して「少しでも人のお役に立てていることを励みに、そのことを生かしていくエネルギーに変えていきます。今後も穏やかに暮らせる地域となるよう、人づくり・仲間づくりを続けていきたい」と発表されました。